

教育目標

「明るく」「強く」「正しく」伸びるいちっ子の育成

ナンバーワン・スクール
つながり まなぼう 「チーム西祖谷」 ふるさと大好きナンバーワン
～ 自分が好き 学校が好き ふるさとが好き ～

ステップアップ・スクール

- 1 学ぶ意欲を高める**
 - ① 間接指導の時間を生かし、自学のスタイルを確立する。
 - ② 基本的な生活習慣や家庭学習習慣を確立する。
 - ③ 授業改善に努め、自ら学びに向かう意欲を引き出す。
- 2 コミュニケーション能力の育成**
 - ① 櫛生小学校での取組
 - ・ 元気なあいさつ、はきはきした返事
 - ・ 聞き方・話し方の指導
 - ・ 異年齢集団活動の充実
 - ② チェーンスクールでの取組
 - ・ 交流活動の推進
 - ・ 授業活動の推進
 - ・ 研修活動の推進
- 3 豊かな感性とふるさとを愛する心の育成**
 - ① ふるさととのかかわる体験活動の推進
 - ② 人権教育、道徳教育の充実
 - ③ 地域とつながる櫛生小学校

基本方針

- 1 生き生きとした教職員集団づくり「チーム櫛生」
- 2 個に応じた指導の推進
- 3 保護者（家庭）・地域との連携・協力・協働体制の構築 「チーム西祖谷」

今年度の重点目標

- 1 基礎学力を定着させ、すべての子どもの学力の向上を目指す。
- 2 言語力、表現力、コミュニケーション能力を高める。
- 3 郷土に誇りを持ち、郷土を愛する児童を育成する。

具体的な実践事項

- ① 地域の特性を生かし、総意を結集した学校経営の創造
 - ・ 「チーム櫛生」として教職員の総意と個性を生かし、活力ある創造的な学校運営に努める。
 - ・ 「チーム西祖谷」としてチェーンスクールや学校支援ボランティア事業等、ふるさと西祖谷とつながり、ふるさとから学ぶ活動に取り組む。
- ② 学習指導の工夫と改善
 - ・ 少人数学級の特性を生かし、個に応じた指導の工夫改善を行い、主体的に学習に取り組む態度を育成し、基礎・基本的な知識と技能の定着を図る。
 - ・ 西祖谷地区小・中学校において授業の進め方等の共通理解を行い、9年間を見通した学び方の定着を図る。
 - ・ 朝のドリルの時間を通して、学校全体で学び・高めあうとともに、学力診断テストで国・算の学年平均5点以上向上する。
- ③ 道徳教育の充実
 - ・ 学校の道徳教育目標と重点となる道徳性を明確にし、地域の中での体験等を通して豊かな心を育むとともに道徳実践力を養う。
 - ・ 児童一人一人の学びの跡を残すことで、指導と評価の一体化を図る。
- ④ 人権教育の推進
 - ・ 全ての教育活動を通して、家族、友だち、自分を大切にすることを培い、ともに認め合う子どもの育成を図るなど人権教育を徹底する。
 - ・ 体験活動を通して、「チーム櫛生」としての仲間意識や異年齢での共助の意識を育成する。
- ⑤ 生徒指導の充実
 - ・ 自ら判断し、自らを律して行動できる児童を育てる。
 - ・ 一人一人の子どもをよく理解し、心のふれあいを大切に指導に努める。
 - ・ 保護者との信頼関係を深め、地域社会との協力体制を確立し、学校・家庭・地域の一体化に努める。
- ⑥ 体育・健康教育の充実
 - ・ 体育学習の充実と運動量の確保。（複数での指導体制）
 - ・ 朝、業間、放課後の時間の計画的な活用と一輪車、スキー学習等への全校での取組。
 - ・ 体操、水泳、陸上の郡市記録会等の練習への参加。
 - ・ ランチルーム給食を生かし、食事のマナーについて確認をしたり、献立の成分表を公表したりする活動を通して、望ましい食習慣の徹底を図る。
 - ・ 家庭との連携を図り、生活リズムを整え、基本的な生活習慣を身につける。
- ⑦ 校内研修の充実
 - ・ 保護者・地域の信頼に応えることができるよう、教職員倫理の確立と職務能力の向上に努める。
 - ・ 教員としての技能と指導力の向上に努め、総意と協働により教育活動の活性化を図る。
 - ・ チェーンスクールを通して、小中9年間を見通した教育活動の実践を目指す。
- ⑧ 総合的な学習の時間（いきいきタイム）の推進
 - ・ 地域の特性を生かした豊かな体験活動をとらして、ふるさとに誇りを持ち、ふるさとを愛するいちっ子の育成を図る。
 - ・ 子どもたちに身につけたい力を明確にし、知りたい、考えたい、広げたい（つなげたい）活動を展開する。
- ⑨ 外国語・外国語活動の充実
 - ・ 日常生活の身近な英会話を扱うことに重点を置き、掲示物や音楽を活用して環境を整え、英語に慣れ親しむことができるようにする。
 - ・ 外国人観光客とコミュニケーションを図り、より実践的な学習を行う。